

第11回 日本の農林業と食を考えるシンポジウム  
 「農業は、国を救い、国民を救う！」 【参加費無料】

2021年2月27日(土)10時-17時50分 予定

オンライン自宅配信、ライブChhom東京用賀校、札幌校、名古屋校、大阪校同時中継

申込URL <https://toyoke.com/tokyo2021/>

主催：農業法人 日本豊受自然農(株)、日本豊受自然林(株)、日本宇迦魂種苗(株)

10:00	開会挨拶 由井寅子(大会長、日本豊受自然農代表、自然農百姓、自然療道家)
10:10	<基調講演> 由井寅子 「農業は、国を救い、国民を救う！ ～国民が潤い幸せになる【経済】を取り戻すために～」 ※経済は「経世済民」の略 本来はお金の動きを意味する言葉でなく、「世を経めて(治めて)民の苦しみを濟う(救う)」意 ★ 昼食休憩 13-14時予定
14:00	<来賓講演> 鈴木宣弘(東京大学農学部教授) 日本の食と農が危ない！—私たちの未来は守れるのか ～命の源の食料とその源の種を守る取り組みを強化しよう～
15:00	<事例発表> 井手麻子(JPHMA認定ホメオパス/日本ホメオパシーセンター山梨八ヶ岳) 「半農半X(イクス)」これからの時代に備え 東京から山梨県八ヶ岳に移住し農業を始めました
	<事例発表> 松本匡美(JPHMA認定ホメオパス、アニマルホメオパス) 動物たちにも自然な健康を！～酪農の現場を経験して。自らの先天性股関節脱臼を自然療法で克服して～
	<事例発表> 金井美和(CHhom プロフェッショナルホメオパス養成4年制コース(9期生 3年生)) ホメオパシー的百姓の実践 ～知識が無いから出来たこと～
	<実践報告> 横田美沙(日本豊受自然農 静岡県函南農場・加工グループ) 「自然農の畑から安心安全な加工・保存食品を生み出す」
	<実践報告> 金光直人、小林且幸、白井天斗(日本豊受自然農 函南農場チーム) 「豊受黒田五寸 固定種人参の成長について」「豊受大豆・麦類の栽培について」
	<実践報告> 米丸輝久、デイリー・マツ、澤田美史、小山内秀孝(日本豊受自然農洞爺農場チーム) 「北海道 大自然の中から取り組む自然型農業、六次産業化の報告」
16:00	<来賓講演> 柴原薫 (伊勢神宮の御神木を伐る杣(そま) 南木曾木材産業社長) 「日本の林業の現状と出口戦略」
16:30	<パネルディスカッション> 印鑰 智哉さん「種子、農、食が持つ力」30分プレゼン後トーク(柴原薫、由井寅子他予定) ※日本の農林業の未来、タネや土、の安全の問題など、参加者一人ひとりがどのように関わって行けば良いか解決策を探ります。メッセージも募集しています。info@toyoke.com
	閉会挨拶 由井寅子
17:50	終了予定 ※若干延長の可能性あり

※2月18日現在 プログラムは変更可能性あり